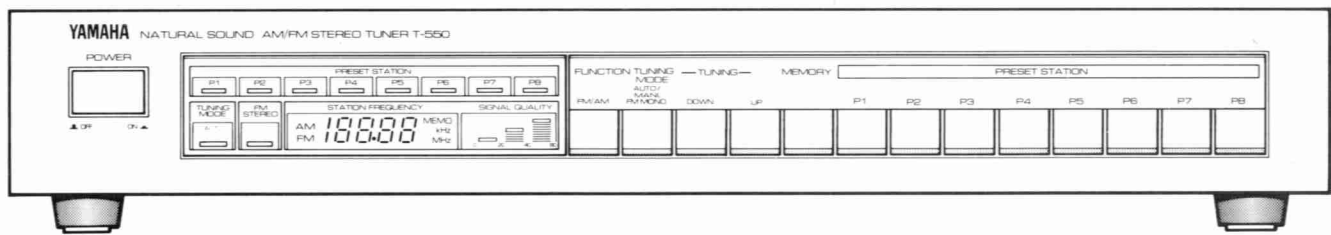




NATURAL SOUND
AM/FM STEREO TUNER

T-550

取扱説明書・保証書



■目次

特長	1	接続上のご注意	5
参考仕様	1	FM/AM放送の受信のしかた、およびプリセットメモリー	6
各部の名称と機能	2	故障と思われるときには	8
接続図	3	サービスのご依頼について	9
ご使用になる前に次のことにご注意ください	4		

ご使用の前に必ずお読みください。

本書には、最終ページに保証書が添付されていますので、所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

このたびは、ヤマハ・ステレオチューナーT-550をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

T-550の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

■特長

●高性能FMチューナー部

3連ツインバラクターダイオード使用の高感度J FET RF増幅段によるフロントエンド。高選択度2共振タイプセラミックフィルターを使用した差動増幅3段+初段ディスプレイのIF回路。ICによるクォドラチャール検波回路を採用し、さらにPLL MPX回路にも専用ICを採用し高感度・低歪率・高選択度と同時に高い信頼性を得ています。

●高性能AMチューナー部

2連シングルバラクターダイオード、非同調高利得RFカスコード増幅段、二重平衡型差動ミキサよりなるRF段。IF同調コイルと高選択度のセラミックフィルター使用のIF段と低歪率検波回路で構成されるAMチューナー部は、電界性の雑音に強い低インピーダンスループアンテナと共にAM放送を高感度高忠実度で安定に受信します。

●チューニングシステム

デジタルシンセサイザーチューナーの特長を活かすオートPLLチューニングシステムによるオートサーチチューニングとFM/AM各8局をメモリーできるプリセットチューニングシステムで操作性のよいチューニングを可能にしています。

●スーパーキャパシター使用のメモリーバックアップ

メモリーバックアップ用にスーパーキャパシターを採用。電池交換などのわずらわしさから解放しました。

●新感覚のデザインと操作性

美しくシンプルなスタイリングと機能美を感じさせるパネルレイアウトで、ヤマハオーディオのクラフトマンシップが息づいています。

参考仕様

■FMセクション

受信周波数	76.0~90.0MHz
実用感度 (MONO 30dB S/N)	
75Ω	0.8μV(9.3dBf)
50dB S/N感度	
MONO (75Ω)	1.55μV(15.1dBf)
STEREO (75Ω)	21μV(37.7dBf)
イメージ妨害比 (84MHz)	60dB
IF妨害比 (84MHz)	100dB
スプリアス妨害比 (84MHz)	80dB
AM抑圧比 (IHF)	55dB
実効選択度 (IHF)	85dB
キャプチャレシオ (IHF)	
MONO	1.5dB
S/N比 (IHF)	
MONO	81dB
STEREO	76dB
全高調波歪率	
MONO (1kHz)	0.1%
STEREO (1kHz)	0.2%
ステレオセパレーション	
1kHz	40dB
周波数特性	30Hz~13kHz ±0.5dB
サブキャリア抑圧比	48dB

■AMチューナーセクション

受信周波数	522~1,611kHz
実用感度 (IHF)	250μV/m
選択度 (999kHz ±9kHz)	24dB
S/N比	50dB
イメージ妨害比 (999kHz)	40dB
スプリアス妨害比 (999kHz)	50dB
全高調波歪率 (1kHz)	0.5%

■オーディオセクション

出力レベル/インピーダンス	
FM (100%変調、1kHz)	500mV/3.3kΩ
AM (30%変調、400Hz)	150mV/3.3kΩ

■付属機構

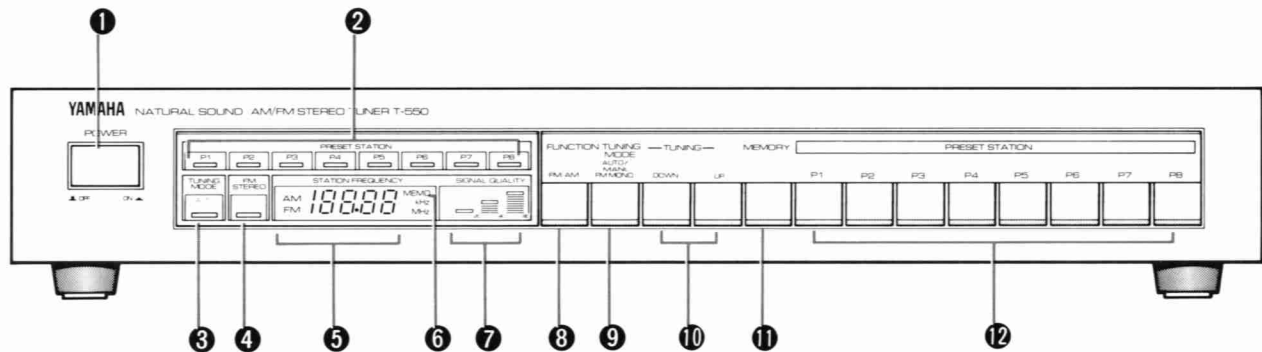
- AM、FM各8局プリセット・チューニング機構
- オートサーチ・チューニング機構 (UP/DOWN)
- シグナルレベル・インジケーター
- ラストチャンネルメモリー機構

■総合

定格電源電圧・周波数	AC 100V 50/60Hz
定格消費電力	8W
外形寸法 (W×H×D)	435×72×281mm
重量	3.0kg
付属品	出力コード FM T字型簡易アンテナ AMループアンテナ
	1 1 1

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございます。

各部の名称と機能



① POWERスイッチ

このスイッチを押してON にすると電源が入り、もう一度押すとOFF となり、電源が切れます。

② PRESET STATIONインジケータ

⑫のPRESET STATIONボタンで選択されたポジションのインジケータが赤く点灯します。

③ TUNING MODEインジケータ

チューニングモードがAUTO(自動選局)のとき点灯します。
※TUNING MODEスイッチの項を参照してください。

④ FM STEREOインジケータ

FM放送がステレオ放送の場合には、自動的にこのインジケータが赤く点灯し、モノラル放送になると消えます。
※AM放送を受信しているときには点灯しません。

⑤ 周波数インジケータ

TUNINGボタンやPRESET STATIONボタンで選ばれた放送の受信周波数をデジタルで表示します。
※FM放送では76.0MHz～90.0MHzを、AM放送では522kHz～1611kHzの受信周波数を表示します。

⑥ MEMORYインジケータ

MEMORY ボタンを押すと約5秒間点滅します。このインジケータが点滅している間はプリセットが可能です。

⑦ SIGNAL QUALITYインジケータ

放送を選局受信する際、チューナーに入って来る電波の強さを表示するインジケータです。

このインジケータが多く点灯するようにアンテナの高さや方向を調整してください。

⑧ FUNCTIONボタン

FM放送かAM放送を選択するボタンです。

⑨ TUNING MODEボタン

●AUTO

チューニングはオートサーチ(自動)となります。
TUNINGボタンを押すと自動的に選局が行なわれます。また、選局中の耳ざわりな局間ノイズが出ないようにミュートがかかります。
通常のご使用では、このポジションでお使いください。

●MAN'L/FM MONO

チューニングはマニュアル(手動)選局となります。このポジションではミュートが解除され、電波の弱い局を受信することができます。

また、FM放送はステレオ放送でもモノラル受信となります。

⑩ TUNINGボタン

放送局を選局するボタンです。

⑪ MEMORYボタン

周波数をメモリー(プリセット)するボタンです。
このボタンを押すとMEMORYインジケータ⑥が約5秒間点滅します。MEMORYインジケータが点滅している間にPRESET STATION1～8のボタンを押すと、周波数インジケータに表示された周波数をメモリーすることができます。

⑫ PRESET STATIONボタン

FM 8局、AM 8局計16局の放送局をプリセットしておくことができます。ボタンを押すとプリセットされた放送局をワンタッチで選局することができます。

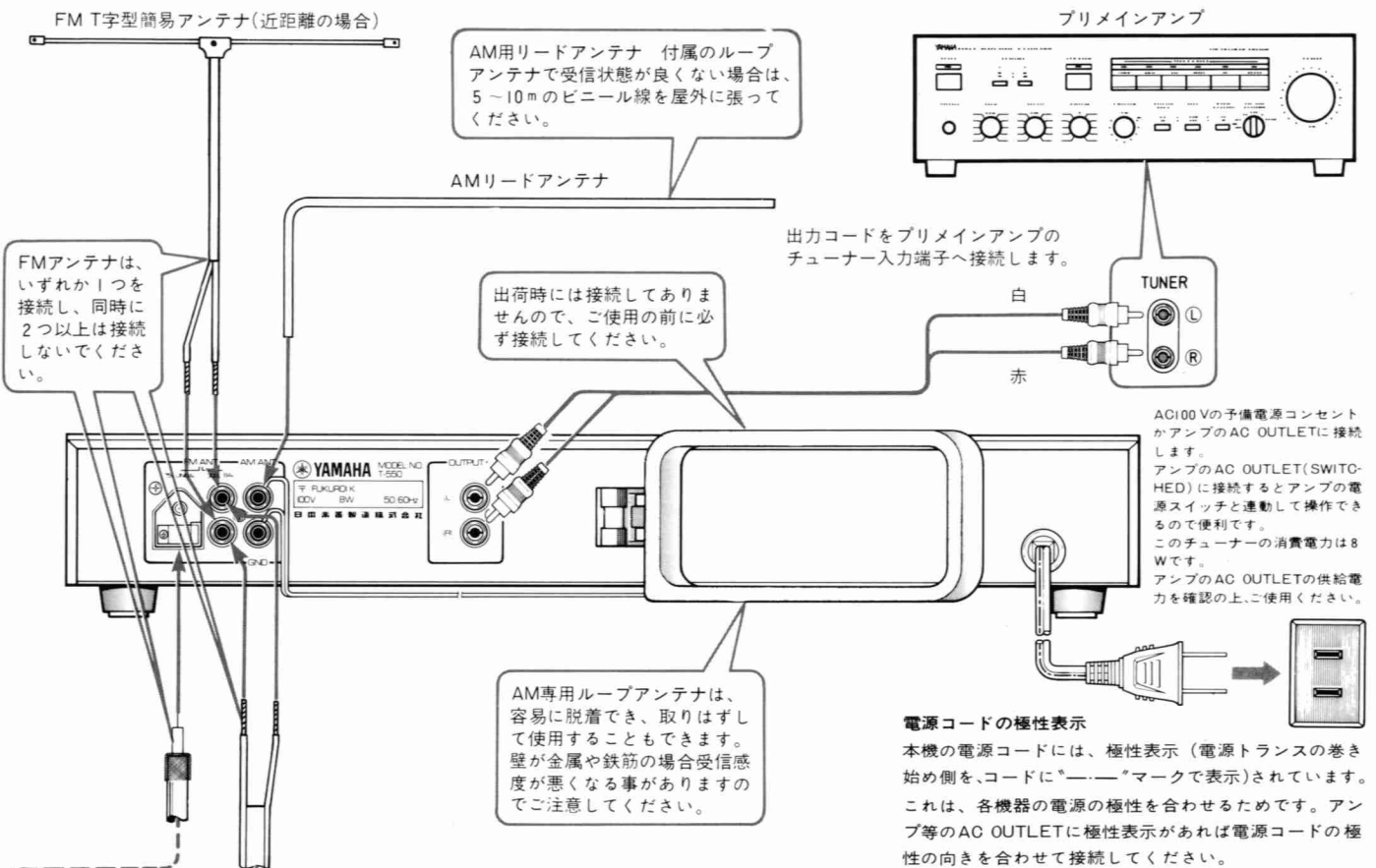
<ラストチャンネルメモリー機能>

●放送受信中に電源を切り、再度電源を入れた場合は、最後に受信していた放送が再度受信されます。この機能はPOWERスイッチのON/OFFだけでなく電源プラグをコンセントから抜き差しした場合も同様です。

●FUNCTIONをFMからAMに切り換えた場合、AMポジションで最後に受信していた放送局が受信されます。AMからFMに切り換えた場合はFMポジションで最後に受信していた放送局が受信されます。

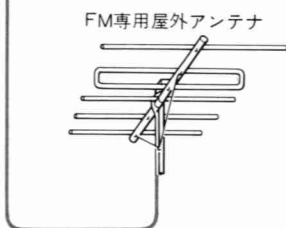
※選局中に電源を切った場合やFUNCTIONを切り換えた場合、次に電源を入れたりFUNCTIONを切り換えたとき、最後に表示されていた周波数が表示され放送が受信されない場合があります。

接続図

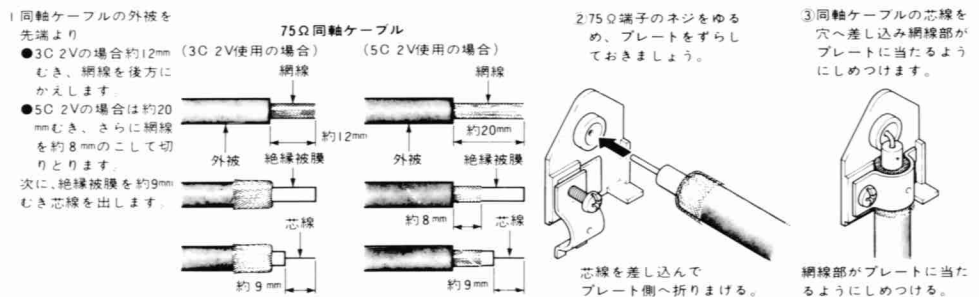


75Ω同軸ケーブルの場合

300Ω平衡フィーダーの場合



同軸ケーブルの接続

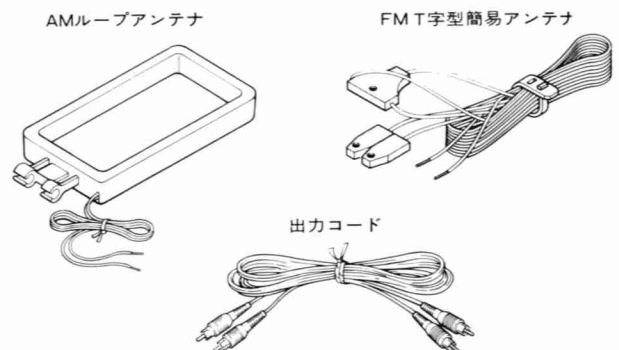


接続上のご注意

- 出力コードの接続は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認してください。
- 接続コードのプラグは、確実に差し込んでください。接続が不完全だと音が出なくなったり、雑音の発生する原因となります。
- 接続コードを、電源コードやプリメインアンプのスピーカーコードと一緒に束ねたり、小さな直径でぐるぐる丸めたりしますと、不要なハムや雑音を拾ったりすることがありますので、ご注意ください。
- テレビや他の受信器の近くでは相互に悪影響をおよぼし良好な受信ができない場合がありますので、テレビなどからできるだけはなして設置してください。

付属品

付属品を確認してください。



ご使用になる前に次のことにご注意ください



設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと音質が悪化したり故障などの原因となります。ご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)または、温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)では製品の機能を維持できない場合がありますのでご注意ください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部品にサビが生じたり故障の原因となることがあります。
- ホコリの多い場所ではスイッチ等がよごれ、接触不良や雑音の発生等の原因になり性能をそこなうこととなります。
- 結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- その他、振動の多い場所や磁気の強い場所(テレビやモーター)の近くには置かないでください。雑音の発生等の原因になります。



セットのお手入れには

セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。(変色等の原因となります。)お手入れには、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。



水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。(この状態で電気を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。)



ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときは、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



FMアンテナ

良質なFM放送をお楽しみいただくために、FM専用アンテナをご使用ください。



取り扱いはいねいに

スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っばらないで必ずプラグを持って抜いてください。旅行などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC100V±10%、50/60Hzの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため必ず電源プラグを抜き、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときには、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。アンテナからのケーブルを端子からはずし、ケーブルには絶対さわらないようにしてください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。



もう一度調べてください。

故障かな?と思ったら、まず8ページの“故障と思われるときには”を見てください。意外なところで操作を誤っていることがあります。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

接続上のご注意 (3 ページをご参照ください。)

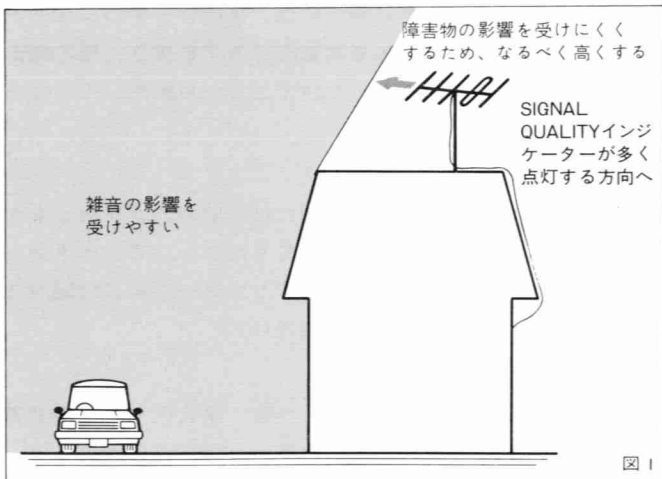
<FMアンテナ>

FM電波は、受信する地域の状況(放送局から離れた地域や、ビルや山のかけなど)によって良好な受信ができにくい場合がありますので、ご使用になる地域の電波の強さや状況に応じたアンテナを設置するようにしてください。

●FM屋外アンテナの設置

放送を良質に受信するために、FM用の屋外アンテナをご使用されることをお勧めします。

図1のように、道路から影になるような所へなるべく高く設置し、目的の放送を受信したときSIGNAL QUALITYインジケータが最も多く点灯する方向へ向けてください。



●FM屋外アンテナの接続

本機のリアパネルには、FMアンテナの接続端子として、300Ω平衡フィーダー線用と75Ω同軸ケーブル用の2種類の端子があります。

FMアンテナの接続には、300Ω平衡フィーダー線または75Ω同軸ケーブルのどちらでも使うことができますが、道路に面した所などでは、オートバイや自動車のイグニッションノイズ(ジーというノイズ)などの外来雑音の影響を受けにくい75Ω同軸ケーブル(3C-2Vや5C-2V)が有利です。また、屋外など長い距離を引きまわすにはロスの少ない5C-2Vの使用をお勧めします。

アンテナ設置上の注意

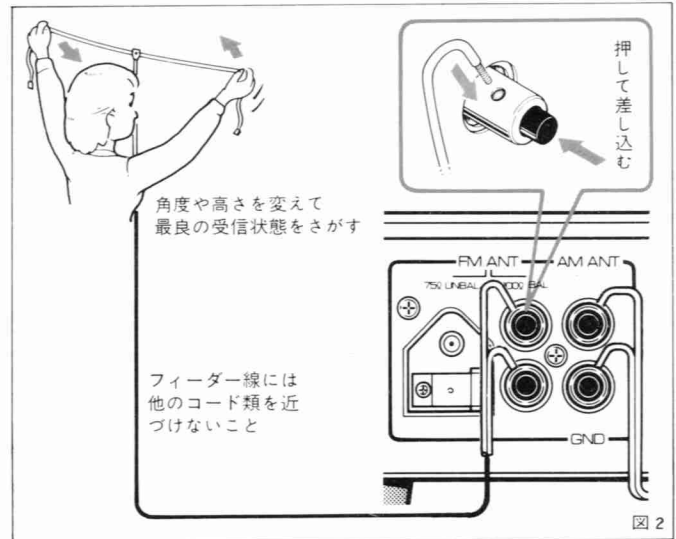
FM屋外アンテナやAMリードアンテナを設置しても、電波の弱い放送局や遠距離の放送局を受信できない場合があります。受信不能な場合にはアンテナの接続、セッティングや高さを確認してください。また、近くの放送局(強電界地域)を受信する際、多素子のアンテナやブースター(増幅器)を用いますと、電波が強すぎて受信できない場合がありますのでご注意ください。

●FM T字型簡易アンテナの接続

付属のT字型簡易アンテナは、暫定的アンテナですので、できるだけFM用屋外アンテナをご使用ください。

付属のT字型簡易アンテナは、放送局に近く電界強度の強い地域で受信する場合に使用してください。

図2のように、アンテナのフィーダー線をリアパネルの300Ω端子に接続し、水平部分の両端をピンと伸ばして、ゆっくりと180度回転させながら最も受信状態の良くなる方向を選んで壁などに固定します。



●AMリードアンテナ

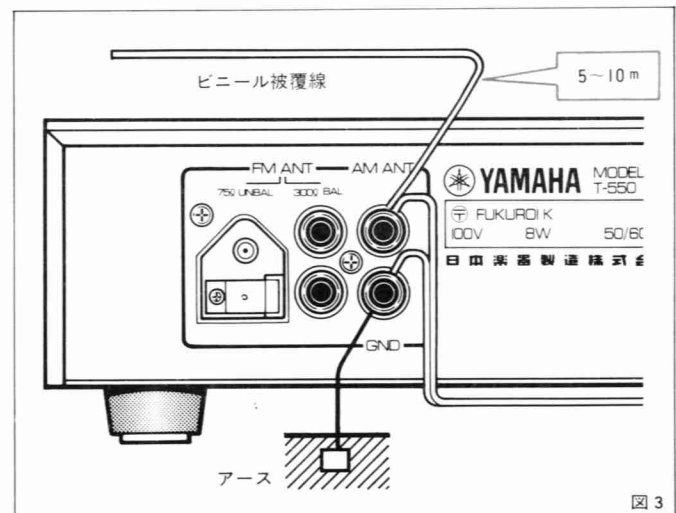
ループアンテナを調整しても受信状態が良くならないときには、AMループアンテナを接続した状態で図3のようにビニール被覆線(5~10m)を屋外に張ってください。

●アースについて

通常受信では必要ありませんが、雑音防止と安全のために地中アースをとることをお勧めします。

アースは市販のアース棒か銅板に導線を接続して湿気の多い地中に深く埋めてください。

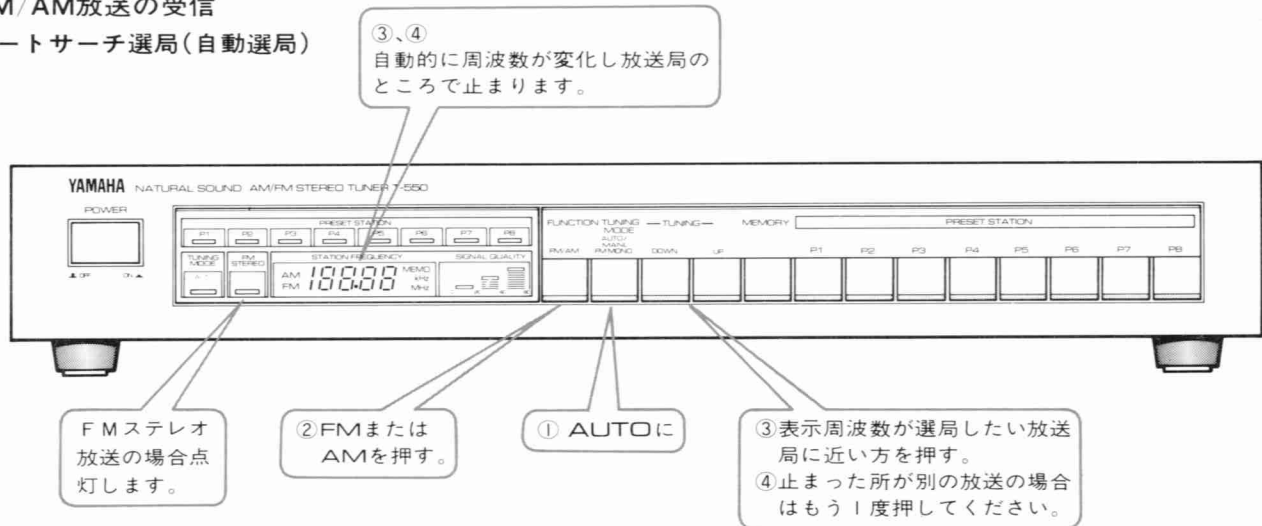
水道管やガス管にアースを取り付けることは感電や火災等の危険防止のため絶対におやめください。



FM/AM放送の受信のしかた、およびプリセットメモリー

■FM/AM放送の受信

●オートサーチ選局(自動選局)



① TUNING MODEスイッチをAUTOポジションにします。

② FUNCTIONのFMまたはAMボタンを押します。

③ TUNINGのDOWNまたはUPボタンを押します。
周波数が自動的に変化して放送局のある所で止まり放送を受信します。

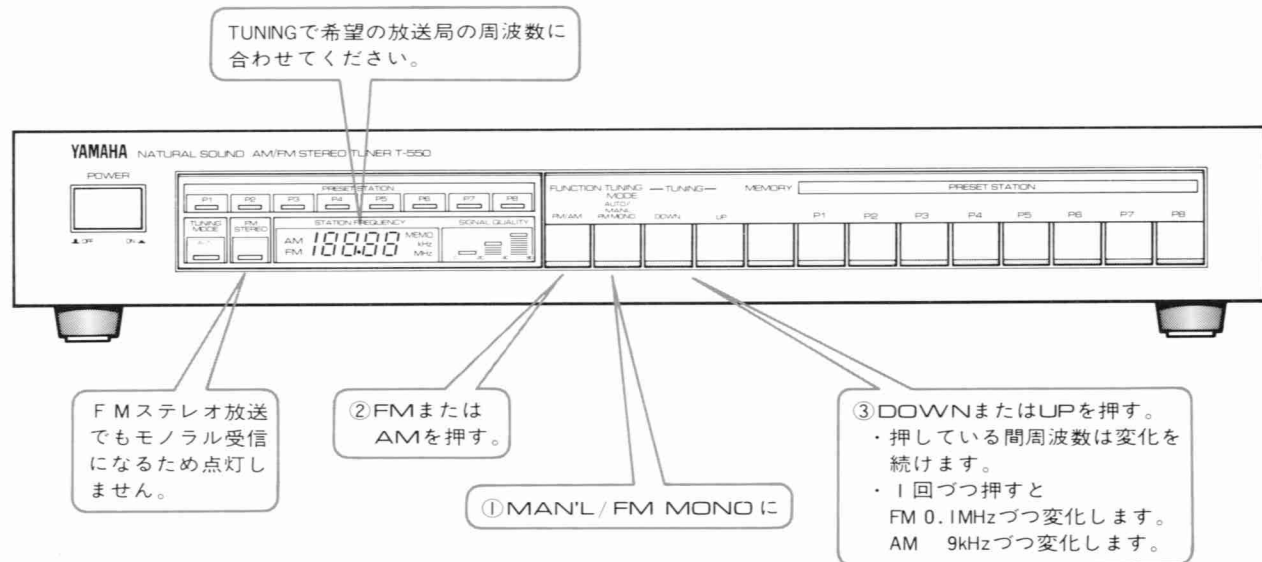
④ 止まった所が目的の放送局でない場合には、再度TUNINGのDOWNまたはUPボタンを押して目的の放送局を選局します。

※アンテナを取り付けてない場合や、ビルの室内などの電波の弱い所でオートサーチ選局をした場合、いつまでも止まらないことがあります。

周波数を止めるには、TUNING MODEスイッチを1度MAN'L/FM MONOポジションにしてください。

●マニュアル選局(手動選局)

希望の放送局の電波が弱い場合には、オートサーチ選局で受信できないときがあります。このようなときにはマニュアルで選局してください。



① TUNING MODEスイッチをMAN'L/FM MONOポジションにします。

② FUNCTIONのFMまたはAMボタンを押します。

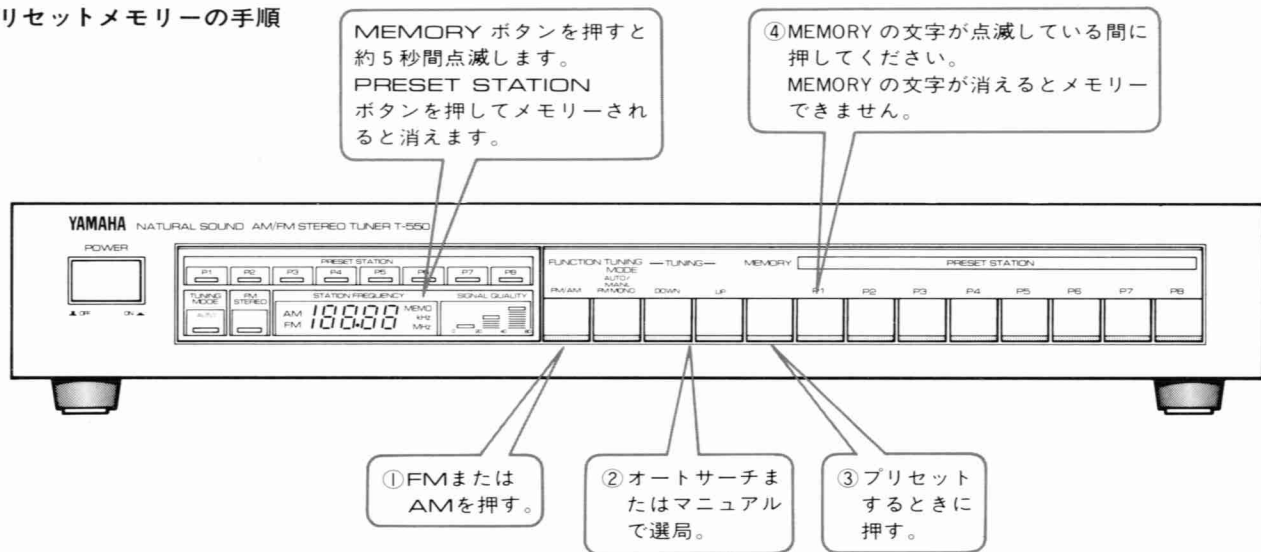
③ TUNINGのDOWNまたはUPボタンを押します。
続けて(約1秒以上)押し続けていると周波数が変化します。

希望の放送局の少し手前で離し、ボタンを1回ずつ押し続けて周波数を合わせます。

■プリセット選局

本機は**TUNING**ボタンによるオートサーチ選局の他に、**PRESET STATION**ボタンによるプリセット選局ができます。ボタンをワンタッチするだけで、あらかじめプリセットされた放送局を受信するというスピーディで操作性の良い選局機能です。

●プリセットメモリーの手順



- ①FUNCTIONのFMまたはAMボタンを押します。
- ②希望の放送局をオートサーチまたはマニュアルで選局します。
- ③MEMORYボタンを押します。このとき、周波数インジケータの右上にMEMORYの文字が約5秒間点滅します。

- ④MEMORYの文字が点滅している間にPRESET STATIONボタンの1～8のプリセットしたいボタンを押します。メモリーが完了すると周波数インジケータのMEMORYの文字が消えます。
※メモリーの内容を変更したい場合は、メモリーするときと同じ手順で前のメモリーの上にメモリーします。前のメモリーは消えて新しくメモリーができます。

●プリセット選局の方法

FUNCTIONとPRESET STATIONボタンを押すだけで選局することができます。

1. FM[※]P2[※]にプリセットした放送局の受信

- ①FUNCTIONのFMボタンを押します。
※このとき、周波数表示はFMの最後に表示されていた周波数に一旦切り換わります。
- ②PRESET STATIONボタンのP2を押します。
※P2[※]にセットされた放送局を受信します。

2. AM[※]P1[※]にプリセットした放送局の受信

- ①FUNCTIONのAMボタンを押します。
※このとき、周波数表示はAMの最後に表示されていた周波数に一旦切り換わります。
- ②PRESET STATIONボタンのP1を押します。
※P1[※]にセットされた放送局を受信します。

3. FM[※]P1[※]にプリセットした放送局の受信

- ①FUNCTIONのFMボタンを押します。
※このとき、一旦FM[※]P2[※]が受信されます。
- ②PRESET STATIONボタンのP1を押します。
※P1[※]にセットされた放送局を受信します。

4. タイマーを使用してFM[※]P2[※]にプリセットした放送局の受信

- ①FM[※]P2[※]を受信(P2を押す)します。
- ②タイマーをセットします。
- ③タイマーONと同時に電源が入り、P2[※]を受信します。

メモリーバックアップについて

本機は、タイマー使用時や電源OFF時にメモリー内容を保持するために特殊なコンデンサーを内蔵しています。長期間ご使用にならない場合にはコンデンサーが放電してしまうため内容が消えることがあります。このような場合、しばらく通電した後、メモリーを再セットしてご使用ください。

故障と思われるときには

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	症 状	原 因	処 置
FM 放 送 受 信 時 の ト ラ ブ ル	“バリバリ、ガリガリ”という雑音が時々入る（電波の弱い地域ほど著しい）	モーターバイクや自動車などのイグニッションノイズ	FM専用アンテナをできるだけ高く、道路から離れた位置に建て、同軸ケーブルを使用してください
		サーモスタットつき電気器具の雑音	雑音を発生している電気器具に雑音防止器を取り付けてみてください
	ステレオ放送になると雑音が多くなり聞きづらい	FMステレオ放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力が弱い場合に起こる	アンテナの接続を確認してください
	オートサーチ・チューニング(自動選局)ができない		FM専用アンテナを建ててください
			FM専用アンテナを多素子のものにしてみてください
			マニュアルで選局してみてください
	ステレオ放送受信時、FMステレオインジケータがチカチカ点滅し雑音も多い	アンテナ入力の不足	受信地域の電界強度に合ったアンテナを建ててください
プリセット・チューニングができない	メモリーが消えている	再度プリセットしてください	
AM 放 送 受 信 時 の ト ラ ブ ル	感度が充分にない	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が確実でない	AMループアンテナを取り付け直してください
	オートサーチ・チューニング(自動選局)ができない		AMループアンテナの方向を変えてみてください
			マニュアルで選局してみてください
			屋外にAM用アンテナを張ってください
	“ジー”、“ザー”、“ガリガリ”などの連続雑音が出る	空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタットつきの電気器具による雑音	AM用屋外アンテナを張り、アースを完全にとると減少しますが、完全に除去するのは困難です
“ビー”、“チー”、“シーン”などの音が入る	テレビなどをそばで使用している	テレビセットから離して使用して見ます	

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼・お問合せは、お買い上げ店、またはYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお願い致します。

■保証期間

お買い上げ日より1年間です。

■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がございましたら、まず本文中の「故障と思われるときには」(8ページ)をお読みになってください。意外と故障でない場合があるものです。

■持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

修理受付および修理品お預り窓口

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーポールビル2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(高松店内) TEL (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3 TEL (082) 874-3787
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター内) TEL (0222) 36-0249
浜松電音サービスセンター	〒430 浜松市東伊場2-13-12 TEL (0534) 56-9211
本社	
営業技術課電音サービスセンター	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL (0534) 65-1111

■日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL(0534)65-1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL(03)572-3111
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL(03)572-3131
横浜店	〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL(045)311-1201
大阪支店	〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館8.9F TEL(06)251-1111
心斎橋店	〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL(06)211-8331
神戸店	〒650 神戸市中央区元町通2-188 TEL(078)321-1191
高松店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL(0878)51-7777
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL(052)201-5141
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2151
小倉店	〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL(093)531-4331
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL(011)512-6113
仙台支店	〒980 仙台市大町2丁目2番10号 TEL(0222)22-6141
広島支店	〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F TEL(082)244-3743
浜松支店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL(0534)54-4116
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL(0534)54-4077
海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール・フィリピン

住所及び電話番号は変更になる場合があります。